

令和2年度 徳島県食料・農林水産業・農山漁村 基本計画レポート （概要版）



令和3年9月
徳島県農林水産部

農林水産業への影響

新型コロナウイルスの感染拡大により

- 外食産業やイベントなどで使用される品目の急激な価格の下落や需要の減退
- 住宅着工件数の減少に伴い、原木の滞留や木材販売単価の低迷

などの影響が生じたことから、県産農林水産物の需要拡大をはじめ、農林漁業者の業の継続を支える施策を推進

1 新しい生活様式に対応した販路拡大

- 「阿波ふうどE Cサイト」の開設やE Cサイトを活用するための相談窓口を設置、こだわり農産物を活用した企画商品を開発
- 「阿波尾鶏」など県畜産ブランドについて、大学食堂への食材提供、飲食業等と連携したメニュー開発・販路開拓等を実施
- 漁業協同組合等が行う「インターネット通販サイト」での県産水産物の販売を支援



阿波ふうどE Cサイト

2 影響を受けた品目の需要創出

- 駅や大型商業施設等において、フラワーアレンジメント等の展示・PRによる県産花きの需要を喚起
- 「阿波地美栄」を飲食店等に提供し、消費拡大キャンペーン等を実施
- 県内小中学校等の給食に阿波牛や阿波尾鶏、ハモ、イセエビ等を提供するとともに、食育を推進
- 製材業者とプレカット業者のマッチングにより、製材工場の在庫滞留解消やプレカット工場での利用を促進



大型商業施設における花き展示
(イオンモール徳島)

3 農林漁業者への緊急的サポート

- 経営に影響を受けた農林漁業者に対し、実質無利子・保証料ゼロの資金繰りを支援するとともに、特に影響が大きい者に融資額の10%を上限に給付金を支給
- 農業・林業・漁業の関係団体に「支援策相談窓口」を設置し、支援策の情報提供や専門家の派遣により各種申請をサポート
- ハウスすだちやハウスゆずを栽培する産地の維持発展を図るため、生産体制強化に向けた次期作の取組を支援

基本戦略Ⅰ 人を『育む』～次代を担う人材への投資～

- 農業、林業、漁業における次代を担う人材育成・確保の司令塔である「とくしま農林水産未来人材スクール」において、就業相談会や分野毎の各アカデミー（アグリビジネス、林業、漁業）の情報発信を一元的に実施
- 農業大学校や各アカデミーを開講し、即戦力となる人材や多様な担い手を育成・確保

1 農業の担い手育成及び確保

- 「施設園芸アカデミー」を開設（R2.7月）し、環境制御技術のエキスパートを育成
- オンラインによるインターンシップ実施など、コロナ禍の新しい生活様式に対応した人材確保対策を実施
- 女性農業者のスキルアップや農福連携の取組を推進

○新規就農者数（累計）

H27:327人⇒R2実績:1,053人（R2計画:1,330人）

○アグリビジネススクールの入学者数（累計）

H27: 99人⇒R2実績: 262人（R2計画: 250人）



施設園芸アカデミー

2 林業の担い手育成及び確保

- 林業体験林「フォレストキャンパス」における高校生、大学生等の林業体験・実習など機会の創出や、シニア層の方を対象とした「アクティブシニア植林隊」の育成
- 新規就業や独立・起業促進のため、「林業機械サポートセンター」を通じ高性能林業機械のリースを支援

○新規林業就業者数（累計）

H27:64人⇒R2実績:249人（R2計画:240人）

○「とくしま林業アカデミー」の修了者数（累計）

H27: - 人⇒R2実績: 64人（R2計画: 70人）



とくしま林業アカデミー

3 水産業の担い手育成及び確保

- 漁業就業希望者に対し、東京と徳島に開設した「徳島漁業就業マッチングセンター」を活用し、情報発信やマッチングを実施
- ベテラン漁業者向けに研修会を開催し、学び直しの機会を創出するリカレント教育を実施
- 就業3年以内の漁業者の定着を図るため、漁協と連携し、資材購入費等を支援

○新規漁業就業者数（累計）

H29:117人⇒R2実績:169人（R2計画:190人）

○「とくしま漁業アカデミー」の修了者数（累計）

H27: - 人⇒R2実績: 16人（R2計画: 20人）



とくしま漁業アカデミー

1 水田農業の振興

- 高温耐性品種「あきさかり」など県産米の品質向上と売れる米づくりを推進
- ドローンを用いた農薬散布など省力化の検証
- 輸出用米の作付け促進や地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大支援など、新たな需要創出を支援

○高温耐性品種「あきさかり」の作付面積

H27: 23ha⇒R2 実績:2,560ha(R2計画:1,850ha)

○水稻の多収品種の作付面積

H29:780ha⇒R2 実績:2,835ha(R2計画:2,130ha)



ドローンによる農薬散布

2 園芸農業の振興

- ブロッコリーの新たな作型実証やにんじんの短期貯蔵出荷等に取り組み、園芸産地のリノベーションを推進
- 高度環境制御装置を備えた大規模園芸施設の整備促進
- 「タデ藍専用収穫機」の導入支援など藍の生産振興

○産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額

H27:26億円⇒R2 実績:50億円 (R2計画:50億円)

○藍の作付面積（累計）

H27: 16ha⇒R2 実績: 20ha (R2計画: 25ha)



高度環境制御装置を備えた
トマトの大規模ハウス

3 畜産業の振興

- 「阿波尾鶏」や「とくしま三ツ星ビーフ」など本県畜産ブランドの生産促進、競争力強化の取組を推進
- グローバル化を見据えた「畜産GAP」「農場HACCP」の認証取得に向けた指導や研修会を実施
- 畜産環境問題発生防止に向けた指導や施設導入整備を支援

○阿波尾鶏地鶏出荷羽数全国順位

H29:1位⇒R2 実績: 1位 (R2計画: 1位)

○農場HACCP認証等取得件数（累計）

H29:6件⇒R2 実績:13件 (R2計画:10件)



「とくしま三ツ星ビーフ」
ロゴマーク

4 林業及び木材産業の振興

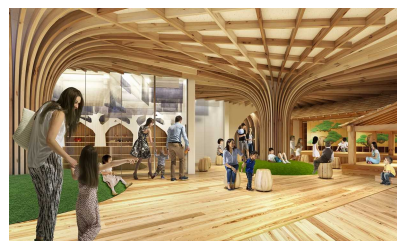
- 高性能林業機械の導入や路網の整備、主伐生産システムの構築による増産対策を実施
- 台湾と県内の企業のWeb商談会による県産材製品輸出推進
- 木育とにぎわいの新拠点「徳島木のおもちゃ美術館」の整備推進とボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」を養成

○県産材の生産量

H27:32.4万m3⇒R2 実績 :37万m3 (R2計画: 48万m3)

○県内の県産木材消費量

H29: 14万m3⇒R2 実績:14.6万m3 (R2計画:16.5万m3)



徳島木のおもちゃ美術館
(完成イメージ)

5 水産業の振興

- 生産コストの低減に向けた漁協の施設整備を支援
- アワビ・クルマエビ等の種苗生産・放流を実施
- 高水温に対応したわかめ優良品種の導入推進や、下水処理施設から漁場に供給される栄養塩量を増加させる栄養塩管理運転の実証試験を実施

○水産物出荷・流通体制施設等の整備（累計）

H27: 8箇所⇒R2実績: 14箇所（R2計画: 14箇所）

○アワビ種苗放流個数（累計）

H27:1,360千個⇒R2実績:2,451千個（R2計画:2,400千個）



クルマエビの放流

6 オープンイノベーションの加速

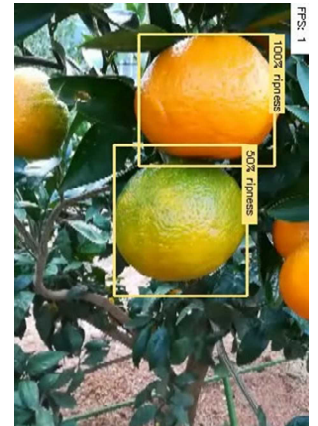
- 農林水産3分野のサイエンスゾーンを拠点として、産学官連携により、研究開発を推進
- 作業の超省力化や高品質生産を可能とするスマート技術の実装に向け、研究開発や現場実証を実施
- 研修会や実証展示を通じた新技術の実用化や普及を推進

○新技術の開発に向けた大学・企業との共同研究数（年間）

H29: 12件⇒R2実績: 20件（R2計画: 12件）

○スマート化技術導入経営体数（累計）

H29:10経営体⇒R2実績:48経営体（R2計画:40経営体）



AIの画像解析による
果樹の熟度判定

7 安全・安心な食料の安定的供給

- SDGs達成に貢献する「持続可能性の高い農産物」の需要拡大に対応するため、GAP認証取得を推進
- 環境に配慮し生産された有機農産物などを「エシカル農産物」と位置付け、消費者の選択・購入を促進するPRを実施
- 家畜伝染病の発生予防・まん延防止に向け、防疫演習や研修会を実施するとともに、防疫資材の備蓄など防疫体制を強化

○農水省GAPガイドライン準拠以上の認証件数（累計）

H27:14件⇒R2実績:53件（R2計画:60件）

○家畜伝染病発生に備えた防疫演習・研修会等の実施

H27:11回⇒R2実績: 9回（R2計画:11回）



家畜伝染病防疫演習

8 食育・地産地消の推進

- 「野菜たっぷり料理レシピコンクール」を開催し、若者の食育や地産地消に対する理解向上を推進
- 大手料理レシピサイトにおける県産食材使用レシピ公開により、徳島の食の魅力を情報発信

○ジュニア・若手食育リーダー数

H27: 63人⇒R2実績: 315人（R2計画: 300人）

○県産食材供給量（学校給食等）

H27:2,329万円⇒R2実績:2,102万円（R2計画:2,800万円）



野菜たっぷり料理レシピ
コンクール

1 進化するとくしまブランドの展開

- 「とくしまブランド推進機構」による市場のニーズの的確な分析を通じたマーケットイン型の販路拡大
- 「Turn Table」において、県産食材にこだわったメニュー展開やマルシェの強化等を実施
- 「とくしま特選ブランド」の拡大に向け、ふるさと納税返礼品への登録、デジタルカタログの作成等を実施

○「とくしまブランド推進機構」の関与した販売金額

H27: - 億円⇒R2 実績: 32億円(R2計画: 30億円)

○「Turn Table」での販売総売上額

H29: 0.1億円⇒R2 実績: 2.7億円(R2計画: 2.3億円)



Turn Tableでの提供メニュー

2 6次産業化の促進

- 「6次産業化プランナー」派遣等による6次産業化サポートや、首都圏バイヤーによる求評会を通じた商品開発、オンライン商談会の開催など販路拡大を支援
- 県内高校・農業大学校と連携したキャリアアップシステムの構築により、6次産業化人材を育成
- 食品加工研修会等の開催により、6次産業化に取り組む事業者のスキルアップを支援

○農工商連携等による6次産業化商品開発事業数(累計)

H27: 209件⇒R2 実績: 411件(R2計画: 430件)

○戦略的な販路開拓のための展示会・商談会への出展数(累計)

H27: 99件⇒R2 実績: 420件(R2計画: 420件)



スーパーマーケット
トレードショー

3 海外展開の促進

- 香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシアにおいて、「なると金時」のプロモーションを実施
- 「とくしま三大香酸かんきつ」等の欧州市場定着に向け、著名パティシエ等によるメニュー開発、SNSでのプロモーションを実施
- 日本貿易振興機構(JETRO)と連携し、中国向け越境EC市場の販路開拓

○農林水産物等輸出金額

H27: 6億円⇒R2実績: 17億円(R2計画: 16億円)

○「とくしまブランド」輸出に取り組む事業者数(累計)

H29: - 事業者⇒R2 実績: 60事業者(R2計画: 60事業者)



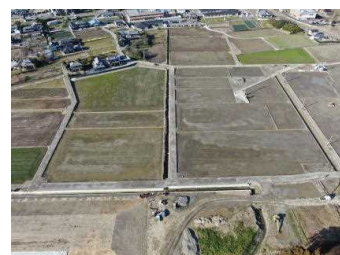
香港での「鳥取・岡山・徳島フェア」

1 農業生産基盤の整備及び保全

- 農地の大区画化や汎用化，農業用水のパイプライン化等の生産基盤や基幹農道の整備，基幹的水利施設の長寿命化を推進
- 「農地中間管理機構」の活用により，意欲ある担い手への農地の集積や耕作放棄地の発生防止・解消を推進

○ほ場の整備面積（累計）

H27:6,839ha⇒R2 実績:7,036ha（R2計画:6,990ha）



ほ場整備（沼田地区）

2 林業生産基盤の整備及び保全

- 林道・林業専用道・森林作業道等の複合路網を整備
- 森林環境譲与税を活用した新たな森林管理システムの運営支援
- 保安林，県版保安林の指定を進め，治山事業等を通じて森林の多面的機能を維持増進

○林内路網開設延長（累計）

H27:7,242km⇒R2 実績:8,047km（R2計画:7,950km）



林内路網整備

3 漁業生産基盤の整備及び保全

- 老朽化した漁港施設や海岸保全施設の機能保全を推進
- 稚魚の育成場となる藻場の造成や，漂流・海底ゴミの回収・処理，中層型浮魚礁の導入など生産力の高い漁場づくりを推進

○老朽化対策に着手した漁港海岸・漁港施設（岸壁等）数（累計）

H27:4箇所⇒R2 実績:19箇所（R2計画:17箇所）



漁港整備（牟岐漁港）

4 南海トラフ・直下型地震への対応

- 「土地改良区BCP」，「漁協版BCP」策定支援，実地訓練等を実施
- 防災・減災対策関連の重点エリアにおける地籍調査を促進
- 土地改良施設の耐震化や農業用ため池等の整備を実施，市町村が取り組む農業用ため池マップの作成・公表を支援

○「農業版BCP」実地訓練等参加者数（累計）

H27:247人⇒R2 実績: 951人（R2計画: 700人）

○「漁協版BCP」の策定数（累計）

H27:9計画⇒R2 実績:25計画（R2計画:25計画）



農業用ため池の整備

5 自然災害等への対応

- 地すべり防止施設や治山施設の計画的な整備，「山地防災ヘルパー」と連携した危険箇所の調査・点検パトロールを実施
- 高潮浸水想定区域図の作成，堤防補強等，高潮対策を推進
- 緊急輸送道路などの重点路線における樹木の事前伐採を推進

○山地災害の危険性が高い箇所の

調査・点検パトロール実施箇所数（年間）

H29:181箇所⇒R2 実績:225箇所（R2計画:180箇所）



山地災害危険地区
パトロール

1 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画

- 地域資源の保全活動などに取り組む地域を支援するとともに、企業や団体等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」と農山漁村の住民との協働活動を促進
- 県内小学校において、専門家とともに環境学習を実施し、田んぼや農業用施設の多面的機能への理解を促進
- 森林ボランティア団体等による県民参加型の森づくり活動の支援、大学等の体験林「フォレストキャンパス」の利活用など県民総ぐるみの森林づくりを推進

○農山漁村（ふるさと）協働パートナーの協定数（累計）

H27:52協定⇒R2実績:74協定（R2計画:72協定）

○カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数（累計）

H27:123企業・団体⇒R2実績:162企業・団体
（R2計画:150企業・団体）



企業等と農山漁村の住民との協働活動

2 移住・定住に向けた都市農村交流の促進

- 農林漁家民宿経営者に対し、新型コロナウイルス感染症対策やおもてなしスキル向上等の研修会を実施し、新しい生活様式に即した受入体制を整備
- 農山漁村の特色ある地域資源を「むらのたから」に認定するとともに、農山漁村地域の魅力を発信

○とくしま農林漁家民宿の宿泊者数

H27:3,190人⇒R2実績:2,656人（R2計画:5,200人）



とくしま農林漁家民宿での農業体験

3 中山間地域等への支援

- 地域住民による、棚田など地域資源を活用した地域の活性化を図る「魅力創生ビジョン」づくりを推進し、ビジョンの早期実現に向けた実践活動を支援
- 集落ぐるみで取り組む中山間地域の農地の多面的機能の維持・発揮や耕作放棄地発生防止の取組を支援
- 「とくしま林道ナビ」登載情報を充実させ、商業施設等でPRイベントを開催

○「未来ある農山漁村づくり」に向けたビジョンの作成地区数

H27: 3地区⇒R2実績: 15地区（R2計画: 18地区）

○多面的機能支払交付金により保全管理された農用地面積

H29:9,888ha⇒R2実績:9,456ha（R2計画:9,900ha）



未来ある農山漁村づくりに向けたワークショップ

4 鳥獣による被害の防止

- 狩猟の知識、実践的な捕獲技術等を学ぶ「とくしまハンティングスクール」を実施し、次世代狩猟者を育成
- 鳥獣被害防止活動や侵入防止柵の整備を支援するとともに、ドローンによるニホンザル生息状況調査等の新技術の実証を実施
- 「阿波地美栄まつり」キャンペーンや料理講習会等を実施し、「阿波地美栄」の消費拡大を促進

○野生鳥獣による農作物被害額

H27:123百万円⇒R2実績:91百万円 (R2計画:92百万円)

○「阿波地美栄」取扱店舗数(実数)

H29: 35店舗⇒R2実績: 46店舗 (R2計画: 48店舗)



「阿波地美栄」料理講習会

5 地球環境の保全への貢献

- 森林が有する多面的機能の維持・増進を図るため、間伐や植栽等の森林整備を実施し、針広混交林・複層林への誘導、広葉樹林の整備を推進
- 自然エネルギーを活用した発電施設の導入や、木質バイオマスの利用を促進
- 農業用廃プラスチックの県下統一処理と再資源化を図る取組を支援

○間伐等森林整備面積(累計)

H29:24,552ha⇒R2実績:27,668ha (R2計画:27,000ha)

○使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)回収率

H27: 97%⇒R2実績: 99% (R2計画: 100%)



針広混交林など多様な森林

6 地球温暖化への対応

- 高温による品質低下が少なく良食味な水稻品種「あきさかり」や、高水温環境に強く収量性の高いワカメ品種の導入や生産技術の開発を推進
- 熱帯性果樹の低コスト栽培技術の開発を推進
- 干ばつや大雨による農作物被害の未然防止や軽減に資する農業用ため池等水利施設の整備や、山地災害を防止する保安林の指定や治山施設の整備を推進

○農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数(累計)

H29: 12件⇒R2実績: 32件 (R2計画: 30件)

○保安林指定面積(民有林)(累計)

H27:97,517ha⇒R2実績:98,452ha (R2計画:98,500ha)



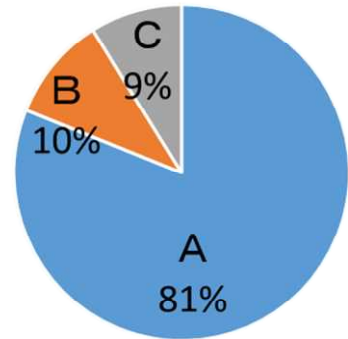
高水温耐性ワカメ品種

行動目標の達成状況

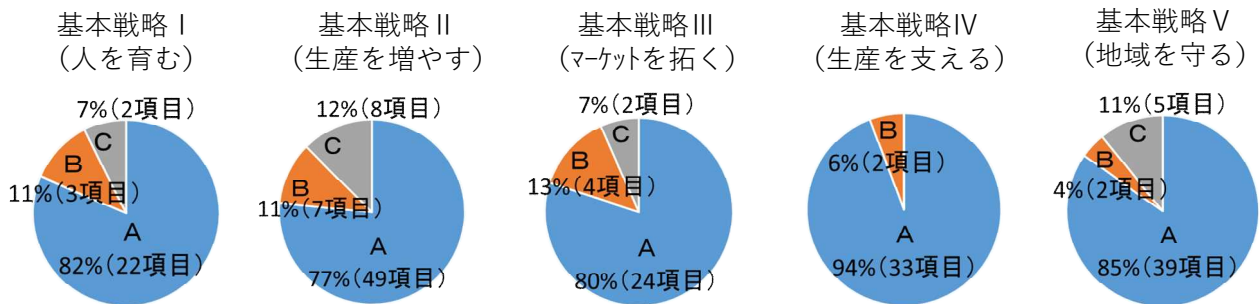
1 定量評価

- 各基本戦略に掲げた行動目標185項目のうち、
評価可能な180項目を定量的に評価

評価	基準	項目数
A	ほぼ達成	数値目標の90%以上
B	概ね良好	数値目標の80%以上
C	不十分	数値目標の80%未満



(戦略別内訳 (再掲を含む))



2 考察

- 146項目は目標の90%を上回り、「ほぼ達成」したものの、
次の16項目は目標の80%未満となった

戦略	行動目標	要因	今後の方向性
Ⅰ	新規就農者数	コロナによる就農相談会等の抑制	地方回帰の取込, 研修の充実
	農業系大学生等によるインターンシップ参加者数	コロナによる往来自粛	オンラインによる実施
Ⅱ	乳用牛群検定への農家加入率	検定農家の高齢化等による廃業	経営改善効果の周知・参加促進
	県産材の生産量	コロナによる需要減退	更なる増産体制の構築
	獣医学生の内閣インターンシップ年間受入れ人数	コロナによる往来自粛	オンラインによる実施
	獣医師研修資金の貸与者数	コロナによる往来自粛	オンラインによる実施
	家畜伝染病発生件数	鳥インフルエンザが2回発生	更なる家畜防疫の徹底
	公式オリパラ関連イベントへの県産食材提供品目数	オリパラの開催延期	-
	ホストタウン対象国メニュー開発数	オリパラの開催延期	-
	県産食材供給量(学校給食等)	コロナによる休校	更なる食育・地産地消の推進
Ⅲ	県産水産物を使用する料理教室への参加者数	コロナによる開催自粛	オンラインによる実施
Ⅴ	木製品によるCO2固定量認証企業・団体数	コロナによるPR機会の減少	感染対策を講じたPRの実施
	とくしま農林漁家民泊の宿泊者数	コロナによる往来自粛	感染症に対応した受入体制の強化
	野生鳥獣による「被害ゼロ集落」の育成数	過疎化及び集落のリーダーの高齢化	更なる普及指導の推進
	東部圏域における処理加工施設の整備	コロナによる合意形成の遅れ	R3年度に整備予定
	小水力発電施設整備モデル地区数	コロナによる合意形成の遅れ	地元等の合意形成に向けた調整の推進